

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 4 巻第 41 号

第 41 週(10月 4日 ~ 10月10日)

発行年月日:平成16年(2004年) 10月 15日
 発行 :滋賀県立衛生環境センター内
 滋賀県感染症情報センター
 電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (41週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (41週)	全国 (41週)	滋賀	全国 ^(*1)
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	9	472	7	459
	腸チフス	0	1	54	0	60
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	2	20	3153	8	2635
4類感染症	E型肝炎 ^(*2)	0	1	21		
	オウム病	0	1	35	1	44
	ツツガムシ病	0	0	101	2	380
	デング熱	0	2	37	0	31
	マラリア	0	1	57	0	77
	レジオネラ症	0	0	107	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	6	457	3	504
	ウイルス性肝炎	0	2	225	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	127	3	115
	後天性免疫不全症候群	0	4	881	8	949
	ジアルジア症	0	1	66	0	99
	梅毒	0	2	384	2	493
	破傷風	0	2	78	1	69
	急性脳炎	0	0	51	0	98

*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

2)定点把握の対象となる5類感染症

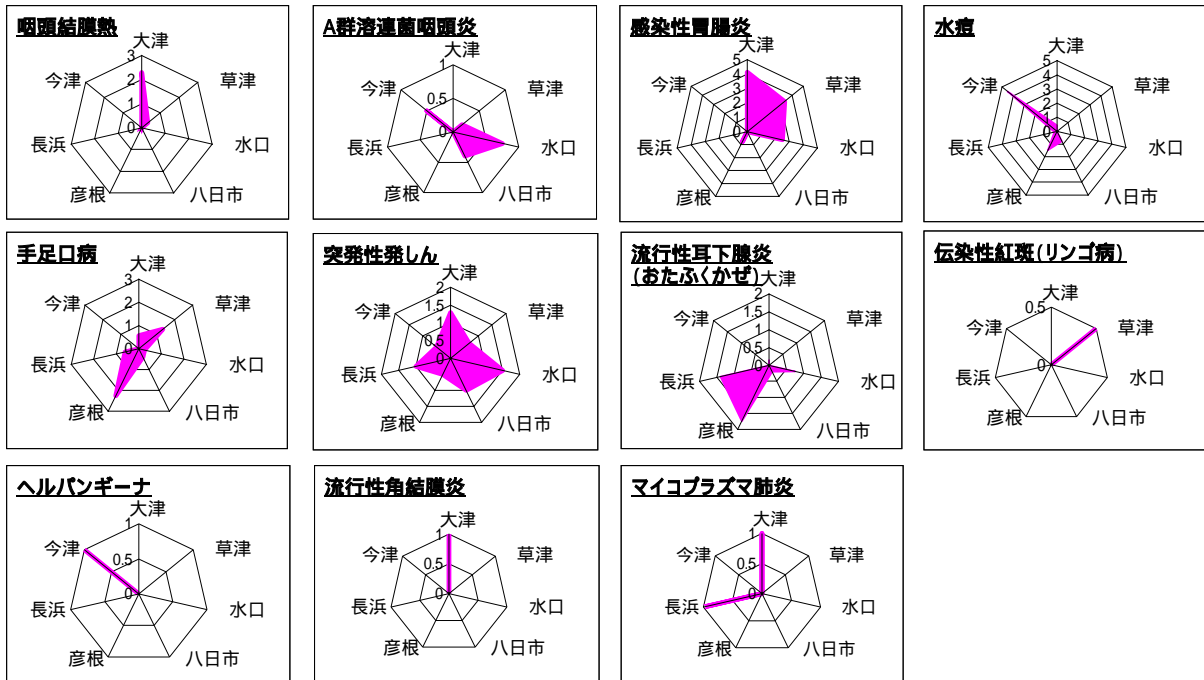
(1)疾病別・週別発生状況(第36~41週、8/30~10/10)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	36週		37週		38週		39週		40週		41週	
	(8/30~)	(9/6~)	(9/13~)	(9/20~)	(9/27~)	(10/4~)	37	38	39	40	41	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0						
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0						
咽頭結膜熱	0.45	0.85	0.36	0.36	0.36	0.58						
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.03	0.27	0.03	0.15	0.18	0.21						
感染性胃腸炎	1.12	1.45	1.18	1.27	1.79	1.88						
水痘	0.42	0.48	0.42	0.42	0.45	0.70						
手足口病	0.82	1.36	0.48	0.58	0.67	0.82						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0	0.03	0.09	0	0.06	0.09						
突発性発しん	0.91	0.64	0.67	0.73	0.76	0.97						
百日咳	0.06	0	0	0	0	0						
風しん(三日はしか)	0.03	0.03	0	0.03	0	0						
ヘルパンギーナ	0.33	0.48	0.24	0.18	0.27	0.06						
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0.03	0	0						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.79	0.88	0.82	0.88	0.97	0.58						
急性出血性結膜炎	0.14	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0.14	0.14	0.14	0.14	0	0.14						
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.57	0.14	0.43	0	0.29	0						
マイコプラズマ肺炎	0	0.29	0	0	0	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						
成人麻しん	0	0	0	0	0	0						

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第41週、10/4～10/10)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	0.58	2.29	0.33	0	0	0.25	0	0
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	0.21	0	0.17	0.75	0.40	0	0	0.50
感染性胃腸炎	1.88	4.14	3.33	2.50	0	0.75	0	0
水痘	0.70	0.43	0	0	0.80	1.50	0.20	4.50
手足口病	0.82	0.57	1.33	0.25	0.40	2.25	0.60	0
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0	0.50	0	0	0	0	0
突発性発しん	0.97	1.29	0.67	1.50	1.00	0.50	1.00	0.50
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0.06	0	0	0	0	0	0	1.00
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.58	0.14	0	0.75	0.20	1.75	1.40	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0.14	1.00	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0.29	1.00	0	0	0	0	1.00	0
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況:

保健所管内別の定点当たり患者数は上記のグラフのとおりです。A群溶連菌咽頭炎は水口でやや多く、感染性胃腸炎は大津、草津および水口で多くなっています。水痘についてみると先週に引き続き今津および彦根からの報告が多くなっており、特に今津で増加しています。
また、流行性耳下腺炎については先週より減少していますが彦根および長浜では先週に引き続き多くなっています。

- 全数報告感染症 -

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。これを全数報告の感染症といいます。

* 感染症法: 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

- 定点当たり患者数 -

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

* 疾患により定点数は異なります。

3) 今週のトピックス

水痘の発生に地域的な偏り 全国における急性脳炎の発生状況

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(9月27日～10月3日)の報告数より多くなっており、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、突発性発しん等の報告は増加しています。また、増加傾向を示していた流行性耳下腺炎の報告は減少しています(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフを参照)。

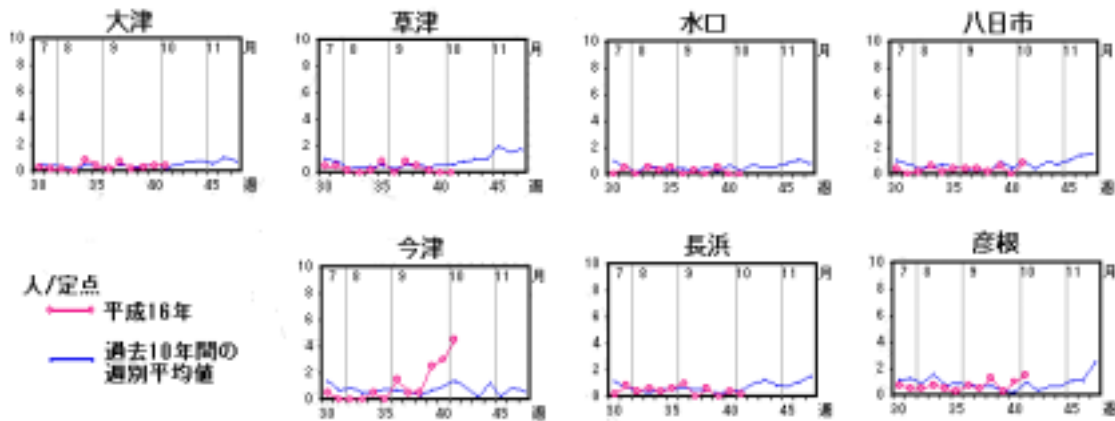
咽頭結膜熱については、第38～40週(9/13～10/3)の定点当たり患者数は0.36と横ばい状態が続いていましたが、今週の定点当たり患者数は0.58と増加し、特に**大津**保健所管内では2.29と多くなっています。

感染性胃腸炎については、先週の定点当たり患者数 1.79よりやや増加し1.88となっており昨年の同時期の定点当たり患者数0.72より多くなっています。今後の発生動向に注意する必要があります。

水痘については、昨年の同時期とほぼ同様の発生状況を示し定点当たり患者数は0.70となっていますが、**今津**保健所管内においては4.50と多くなっています。

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)については、先週の定点当たり患者数0.97より減少し0.58と減少していますが**彦根**および**長浜**保健所管内では先週に引き続き多くなっています。定点当たり患者数はそれぞれ1.75、1.40です。

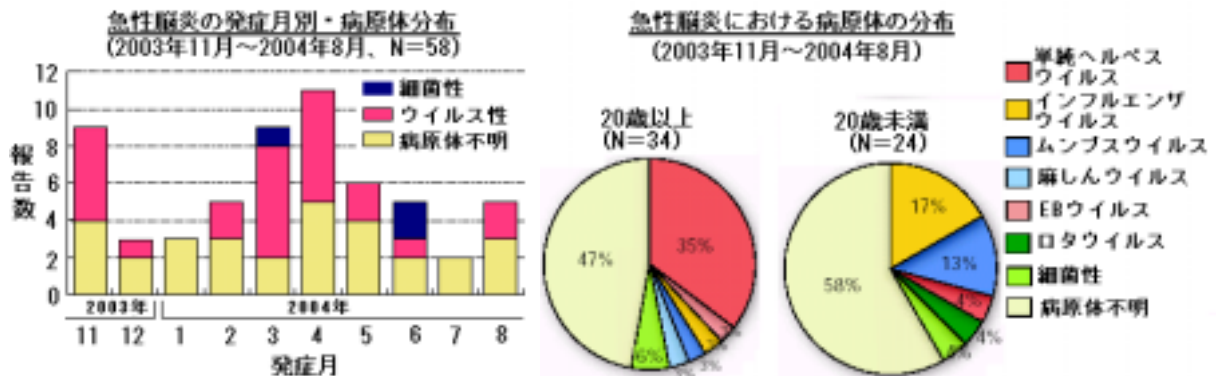
水痘の保健所管内別発生状況 (平成16年第41週、H16.10.4～H16.10.10)



第41週の水痘の発生状況についてみると、今津保健所管内の定点当たり患者数は過去10年間の週別平均値よりかなり多くなっています。その他の保健所管内の定点当たり患者数は同じまたは少なくなっています。

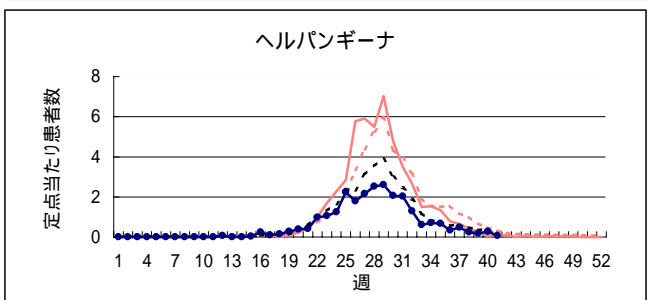
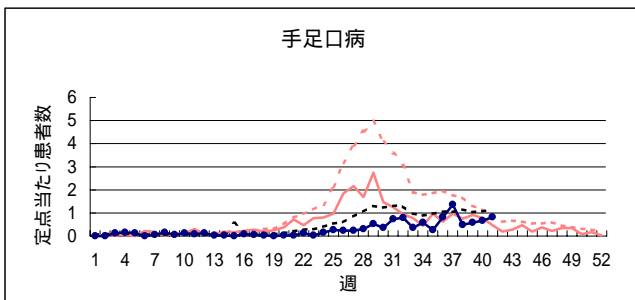
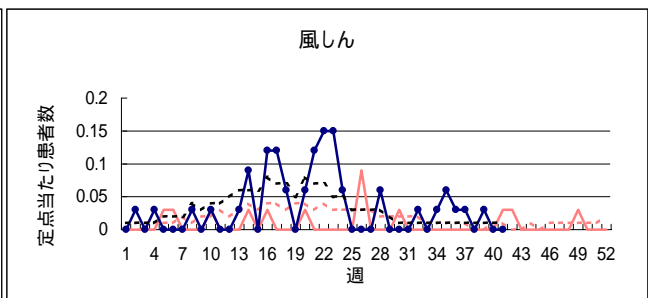
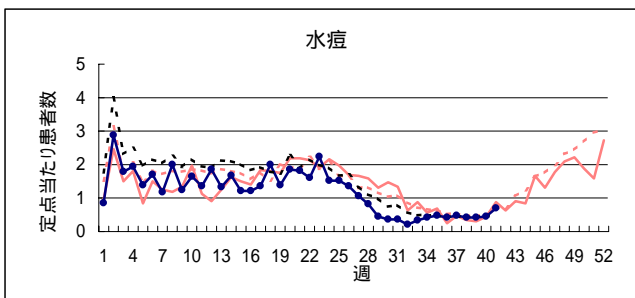
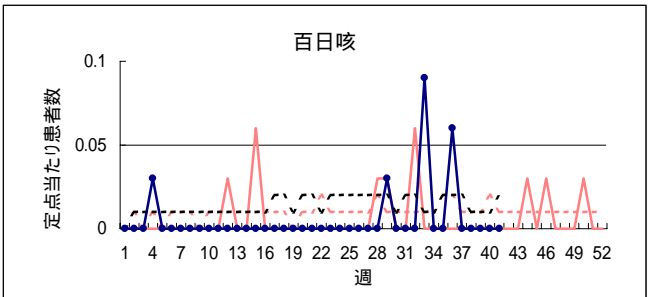
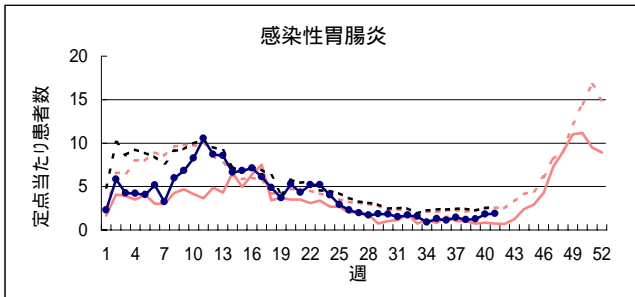
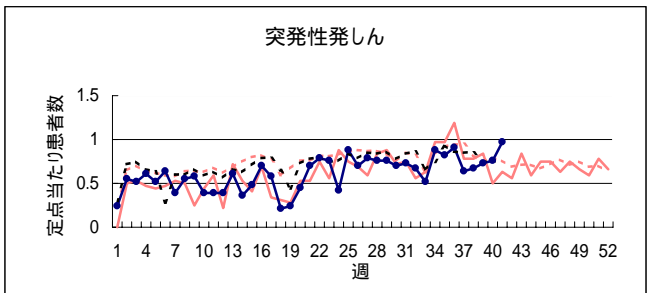
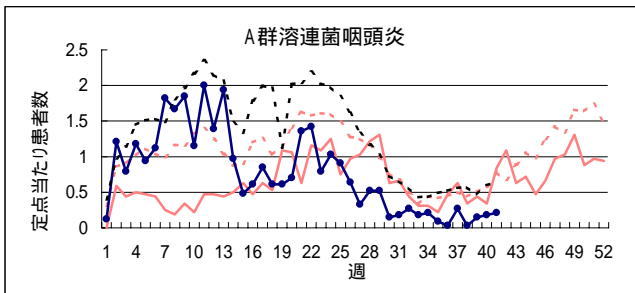
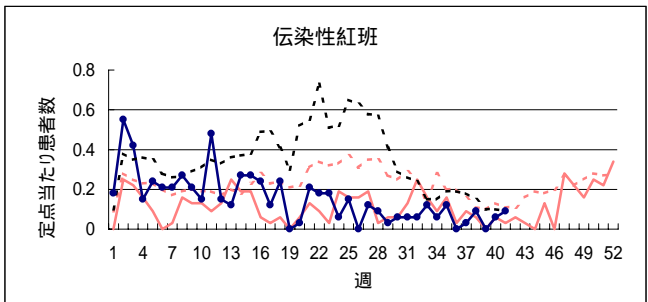
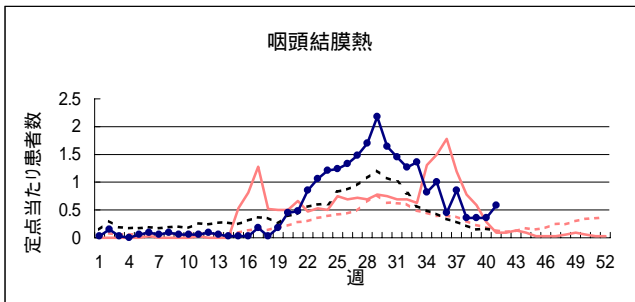
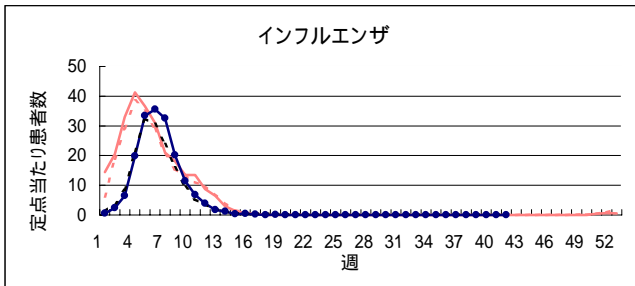
全国における急性脳炎の発生状況 (IDWR2004年第6巻第39号より)

急性脳炎は昨年の感染症法の一部改正(2003年11月5日施行)によって、基幹定点からの報告による定点把握疾患から五類感染症全数把握疾患に変更され、診断した全ての医師に届け出が義務づけられています。2003年11月5日から8月末までの報告についての発生状況は下記のグラフのとおりです。



全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ** (<http://idsc.nih.gov.jp/index-j.html>)において公表されています。

疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第41週、H15.12.29～H16.10.10)



疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第41週、H15.12.29～H16.10.10)

H15 〔 滋賀 ———— 全国
 H16 〔 滋賀 ●——● 全国
 全国

